

柱2

都市の魅力・活力を高める道づくり

都心部を中心に高度な都市機能や、九州全体の国際交流のゲートウェイにふさわしい港湾・空港機能などが充実する都市をめざし、物流・交流を支える都市の骨格を形成する道路整備を進めます。

また、誰もが楽しくて居心地が良い道路空間や美しい街並みや地域の個性を生かした魅力的な都市景観を形成するため、彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出を進めます。

『都市の骨格を形成する道路整備』

●幹線道路の整備

市域内の拠点間の連携強化や、周辺市町との広域交流・連携のため、交通の円滑化を図るとともに、生活道路や通学路に流入する通過交通の排除を図るため、都市計画道路などの幹線道路の整備に取り組みます。



●自動車専用道路の整備

本市南部地域や太宰府方面から福岡空港へのアクセス強化や空港周辺道路の渋滞緩和を図るため、福岡高速3号線の延伸事業に取り組みます。



『既存ストックを活用した交通円滑化』

●ボトルネック交差点などの改善

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良に取り組むとともに、国土交通省が実施する国道3号博多バイパス立体化事業の促進に取り組めます。

特に、平均速度20km/h未満などの要件から「地域の主要渋滞箇所」として選定されている交差点のうち、渋滞長が長いなどの課題が多い交差点については、抜本的な交通渋滞の改善に向けた検討に取り組めます。

また、安全かつ円滑な高速道路ネットワークの形成を図るため、自動車専用道路のジャンクションやランプなど交通渋滞が発生しやすい箇所に対して、福岡北九州高速道路公社をはじめとする関係機関との相互連携を図り、交通渋滞の改善に取り組めます。

整備事例(右折レーン設置)



空港口交差点 交差イメージ図



整備事例(路面標示)



『総合交通体系の構築を支える道路整備』

●公共交通の利便性向上

コンパクトな都市という強みを活かすとともに、市民生活を支え、来街者にも分かりやすく使いやすい交通体系づくりの実現を図るため、拠点駅等でのバスや鉄道の利便性を高める道路整備などによる交通結節機能の充実・強化や、バス事業者などと連携を図りながら、バス停への上屋の設置やバス停カットの整備などによる公共交通利用環境の改善に取り組めます。

整備事例(駅前広場)

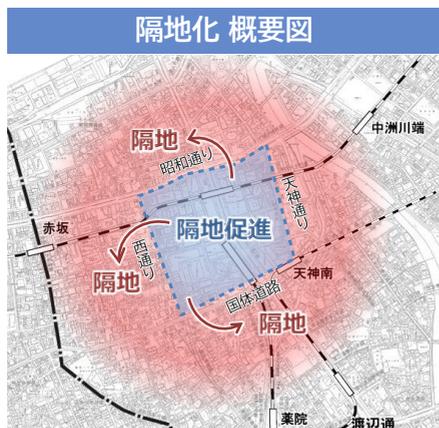


整備事例(バス停カット)



●都心部の交通対策

都心部内の道路交通混雑を緩和するため、天神通線の整備や駐車場の隔地化などを進めるとともに、スマートフォン等で天神周辺における駐車場の空き状況などが確認できる「駐車場満空情報システム」の運用と更なるサービス向上に取り組みます。



●多様なモビリティに対応した道路空間の検討

運転手不足や少子高齢化・人口減少による物流や生活交通の維持といった交通課題の解決に向け、自動運転やモビリティハブによる利便性向上など、国の動向や技術の進展などを踏まえながら、新たなモビリティに対応した道路空間の検討に取り組みます。



資料:国土交通省(WISENET2050・政策集)



資料:国土交通省(道路政策ビジョン2040)

『彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出』

●楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用

誰もが魅力を感じ、安心して楽しく回遊でき、市民や来街者が集い憩い多様な活動ができるよう、人が中心となった緑豊かで彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出に取り組むとともに、「歩行者利便増進道路(ほこみち)制度」などによる、沿道と一体となった道路空間の利用・活用に取り組みます。



資料:東京都



主催:We Love 天神協議会

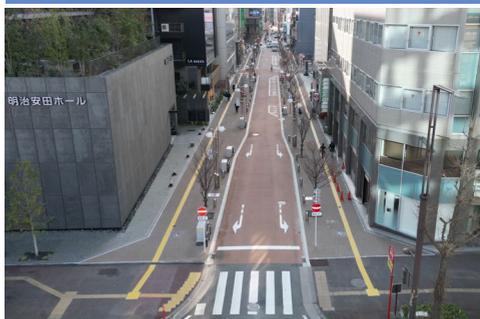
●地域の個性を活かした道路空間の整備

美しく良好な都市環境を創造し、観光振興や地域活性化などを図るため、地域と行政が一体となって、歴史的建造物や街並み、豊かな自然環境など、地域の個性を活かした道路空間の整備に取り組みます。

整備事例(櫛田神社前)



整備事例(中洲中央通り)



整備事例(北崎)



整備事例(志賀島)



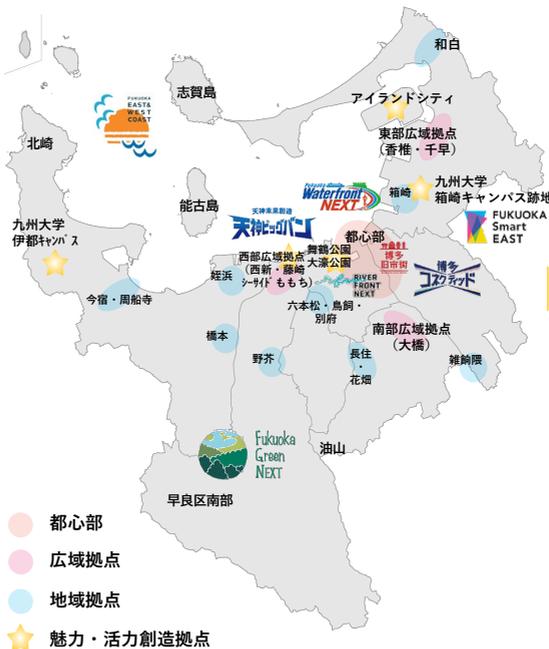
●まちづくりと連携した道路整備

都心部や都市の成長を推進する魅力・活力創造拠点、市民生活の核となる広域拠点や地域拠点などにおいて、拠点の特性に応じたまちづくりを進めるため、拠点の魅力や集客力の向上、交通円滑化に向け、まちづくりと連携した道路空間の整備に取り組みます。

豊かな自然



商業・業務・研究開発



観光・MICE



文化・歴史・芸術



切迫する大地震や激甚化・頻発化する自然災害から市民の命と暮らしを守るため、人命救助や消防活動など、広域的な応急対策を実施するために必要な緊急輸送道路などにおいて、防災・減災・国土強靱化に資する道路整備を進めるとともに、増加する道路施設の老朽化に対応するため、将来に渡り持続可能な道路の維持管理を進めます。

『自然災害に備える道路整備』

●無電柱化の推進

地震や台風などの災害時における電柱倒壊による道路遮断の防止や、電力・通信網の切断被害の軽減に加えて、安全で円滑な交通確保や観光振興などを図るため、「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、緊急輸送道路や生活関連経路などの無電柱化に取り組みます。

無電柱化の推進にあたっては、電線管理者と協働で検討を重ねたファスト地中化や工事ヤードの常設化などの手法を活用しつつ、更なるコスト縮減とスピードアップに向けた検討を進めます。



●橋梁耐震補強の推進

道路空間は、災害時における人命救助や消防活動などに不可欠な緊急輸送路及び防災空間としての機能を有するため、「福岡市橋梁耐震補強計画」に基づき、緊急輸送道路に架かる橋梁などの耐震補強に取り組みます。



●狭あい道路の拡幅整備

生活道路において、交通安全や防災上支障となっている幅員4.0m未満の狭あいな道路を解消するため、必要な用地については寄付を受けながら、道路の拡幅整備に取り組みます。

